

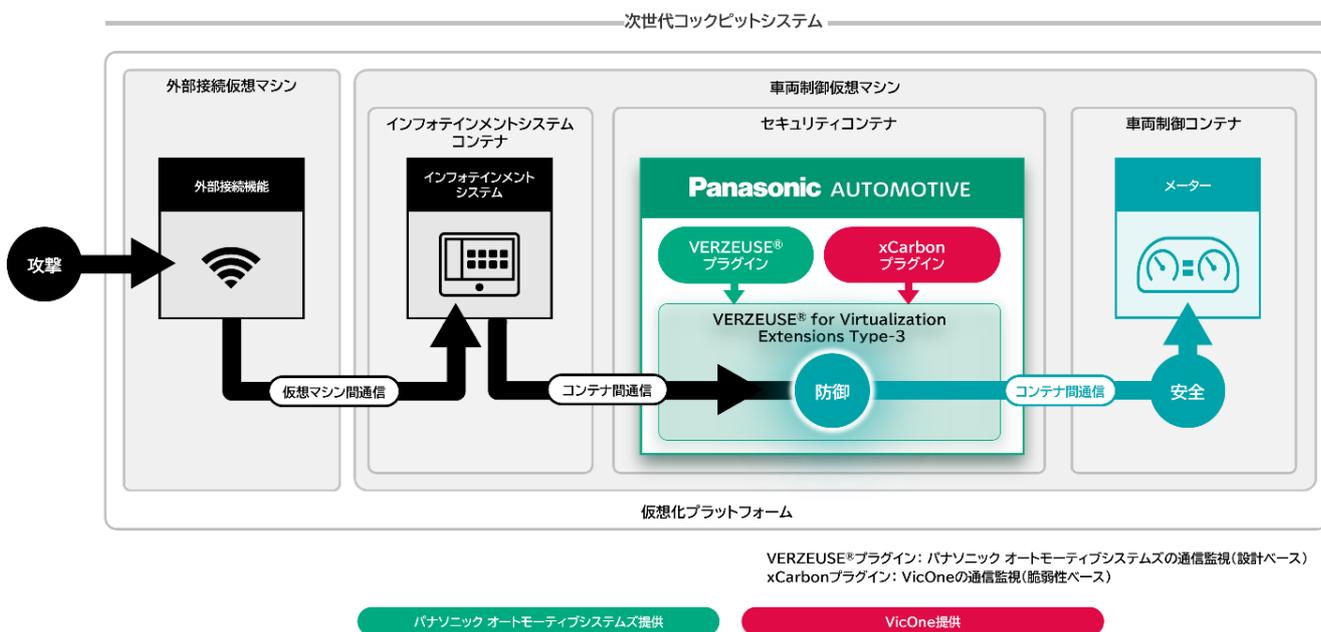


## VicOne とパナソニック オートモーティブシステムズが 自動車の次世代コックピットシステム向けセキュリティソリューションを拡張 ～「VERZEUSE®<sup>※1</sup>」の攻撃検知・防御ソリューションに「xCarbon」を統合～

トレンドマイクロ株式会社（東京都新宿区、代表取締役社長（CEO）エバ・チェン）の子会社で、自動車向けサイバーセキュリティ分野のリーディングカンパニーである VicOne 株式会社（ヴィックワン、東京都新宿区、最高経営責任者（CEO）マックス・チェン）とパナソニック オートモーティブシステムズ株式会社（代表取締役社長：永易正史、本社：神奈川県横浜市）は、次世代コックピットシステムにおけるコンテナ環境対応に向けてセキュリティソリューションの機能を拡張し、技術検証を完了しました。

本セキュリティソリューションは、2024年10月にパナソニック オートモーティブシステムズが発表した攻撃検知・防御ソリューション「VERZEUSE® for Virtualization Extensions Type-3」に、VicOne の車両向け組込型セキュリティソフトウェア「xCarbon」を統合し機能拡張しました。これにより、Automotive Grade Linux（以下、AGL<sup>※2</sup>）のリファレンスボード上で、コンテナ間通信の効率的な監視が可能となり、自動車の次世代コックピットシステムへ適用可能であることが確認できました。

本セキュリティソリューションは2025年8月24日～28日に開催される第31回「ITS 世界会議 2025 アトランタ」<sup>※3</sup>に出展します。



パナソニック オートモーティブシステムズの「VERZEUSE® for Virtualization Extensions Type-3」は、車両の外部ネットワークとつながることで、攻撃者に侵入されるリスクが高まるソフトウェア領域（例：車両制御仮想マシン上のインフォテインメントシステムコンテナ）と、制御機能やソフトウェア更新機能など車両の重要な機能を搭載するソフトウェア領域（例：車両制御仮想マシン上の車両制御コンテナ）の間の通信を監視します。監視機能を隔離されたコンテナ内に配置することで、安全な領域から通信を監視し、不審な通信を検知して遮断します。これにより、車両の重要な機能をサイバー攻撃から守り、車両の安全性を高めます。本方式は、仮想化環境を利用した次世

代コックピットシステムに求められるセキュリティ要件※4にも適合しています。

VicOne が提供する「xCarbon」は、車両向けの組込型セキュリティソフトウェアで、車両に対するサイバー攻撃の検知と防御を行います。この「xCarbon」が、「VERZEUSE® for Virtualization Extensions Type-3」の拡張インターフェースと連携することで、コンテナ間の通信データを監視し、脆弱性を悪用した攻撃や通信異常等から次世代コックピットシステムを保護します。さらに、「VERZEUSE® for Virtualization Extensions Type-3」がリスクの高い通信を選別して「xCarbon」に渡すことで、セキュリティ監視をより効率的に行うことができます。

近年、SDV※5の進化やネットワークに接続する車両の増加により、車両を狙ったサイバー攻撃などのセキュリティ脅威に対するリスクは高まる一方です。2021年1月には国連により、自動車サイバーセキュリティ法規 UN-R155 が施行されました。日本では2022年7月以降に販売される一部の車両からこの法規が適用され始め、2026年5月以降は販売される全ての車両が対象となります。この法規の下では、十分なサイバーセキュリティ対策が講じられていない車両は、保安基準を満たさず販売できなくなります。そのため、自動車メーカーや関連企業にとって、セキュリティ対策の重要性がこれまで以上に高まっています。

今後も、VicOne とパナソニック オートモーティブシステムズは自動車の次世代コックピットシステムのサイバーセキュリティ強化に貢献していきます。

※1 VERZEUSE は、パナソニック オートモーティブシステムズ株式会社または関連会社の日本国における登録商標です。

※2 AGL は、次世代コックピットシステムにおける有力な車載 OS の一つとされています。

※3 2025年8月5日プレスリリース「第31回 ITS 世界会議 2025 アトランタ」に出展

<https://news.panasonic.com/jp/press/jn250805-2>

※4 「ST-CSP-18：ソフトウェア分離技術を用いた車載セキュリティ機能要件定義書 Ver.1.01」(JASPAR (Japan Automotive Software Platform and Architecture) , 2023)

※5 SDV (Software Defined Vehicle)

〈関連リンク〉

▼ソリューション

・ VERZEUSE® 詳細ページ

自動車サイバーセキュリティ <https://automotive.panasonic.com/innovation/cyber-security>

・ xCarbon 詳細ページ

xCarbon <https://vicone.com/jp/products/xcarbon>

▼プレスリリース

・ 2023年1月23日

パナソニック オートモーティブシステムズ、トレンドマイクロ、VicOne が 自動車の次世代コックピットシステム向け仮想化セキュリティソリューションを実証

<https://news.panasonic.com/jp/press/jn230123-2>

・ 2023年7月18日

ICT分野の世界的アワード Informa Tech Automotive Award 2023において「Collaborative Partnership of the Year」を受賞 <https://news.panasonic.com/jp/topics/205254>

パナソニック オートモーティブシステムズ株式会社について

パナソニック オートモーティブシステムズ株式会社は、2022年4月1日、パナソニックグループ

プの事業会社制スタートに伴い、車載事業を担う事業会社としてスタートし、2024年12月2日から、株式の80%をApollo Global Management, Inc.の関係会社が投資助言を行うファンドが、20%をパナソニック ホールディングス株式会社が保有する経営体制に移行しました。当社は、日本を本社とし、海外8ヵ国に傘下子会社を有するグローバル企業です。Tier1として、国内外の自動車メーカーに、インフォテインメントシステムをはじめとする当社ならではの先進技術を提供し、快適で安全・安心なクルマづくりに貢献しています。企業ビジョンである、世界一の「移ごこちデザイン」カンパニーを掲げ、人に寄り添う技術で世界のお客様のご期待にお応えします。 <https://automotive.panasonic.com/>

## VicOne について

VicOne は、これからの自動車を守るというビジョンを持ち、自動車産業向けに幅広いサイバーセキュリティソフトウェアやサービスを提供しています。自動車メーカーの厳しい要求に応えるために開発された VicOne の各ソリューションは、現代の車両が必要とする高度なサイバーセキュリティの各種要件に適合し、大規模な運用にも応えるように設計されています。VicOne は、トレンドマイクロの子会社であり、トレンドマイクロが30年以上にわたって培ってきたサイバーセキュリティ技術をベースにしています。自動車サイバーセキュリティのグローバルリーダーとして、サイバーセキュリティにおける独自の深い知見を活かした先見性を提供し、お客様が安全でスマートな車両を開発できるよう支援しています。

### 〈会社概要〉

|             |   |
|-------------|---|
| 日本法人名       | VicOne 株式会社（英語名：VicOne Corporation）                               |
| グローバル代表 CEO | マックス・チェン  |
| 日本法人役員      | 会長 マヘンドラ・ネギ、 マックス・チェン等  |
| 設立日（台湾）     | 2022年6月   |
| 設立日（日本）     | 2023年6月（登記月）  |
| 従業員数（グローバル） | 約120名   |
| 本社所在地       | 東京都新宿区新宿4-1-6 JR新宿ミライナタワー   |
| 事業内容        | 自動車向けサイバーセキュリティソリューションの開発   |
| URL         | <a href="https://www.vicone.com/jp">https://www.vicone.com/jp</a> |